

MS&AD インシュアランス グループ

CSR Report 2010

～ ダイジェスト版 ～



トップメッセージ

2010年4月1日に、三井住友海上グループホールディングス、あいおい損害保険およびニッセイ同和損害保険が経営統合し、「MS&ADインシュアランスグループ」としてスタートいたしました。

10月1日に、あいおい損害保険株式会社とニッセイ同和損害保険株式会社が合併し、新たに「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」が誕生しました。

私たち、MS&ADインシュアランスグループは、国内損害保険、国内生命保険、海外、金融サービス、リスク関連サービスの5大事業を中核に、グループ各社の強みや、強力な顧客・営業基盤をいかし、国内外のあらゆるマーケットのお客さまに高品質で満足いただける商品・サービスを提供してまいります。

また、経営統合にあたり、グループの目指す姿としてまとめた経営理念（ミッション）、経営ビジョンをグループ全社員が共有し、スピード感を持って飛躍的に事業基盤および経営資源の質・量の強化・拡大を図り、グローバルに事業展開する世界トップ水準の保険・金融グループを創造して、持続的な成長と企業価値向上を実現してまいります。

「すべての事業活動は、私たちのミッション・ビジョンを実現するためのものである」との基本的な考え方にもとづき、すべての事業活動を通して社会的責任を果たしていきます。

引き続き、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

代表取締役社長

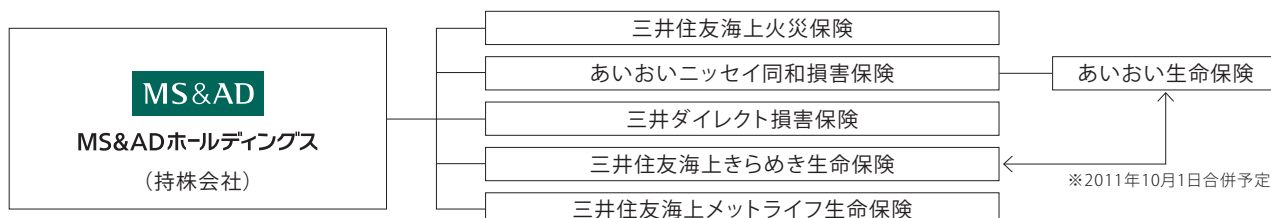
江頭 敏明

MS&ADインシュアランスグループの紹介

▶ MS&ADインシュアランスグループの概要

MS&ADインシュアランスグループホールディングスは、5つの直接出資するグループ国内保険会社（三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保、三井住友海上きらめき生命、三井住友海上メットライフ生命）を有する上場持株会社です。

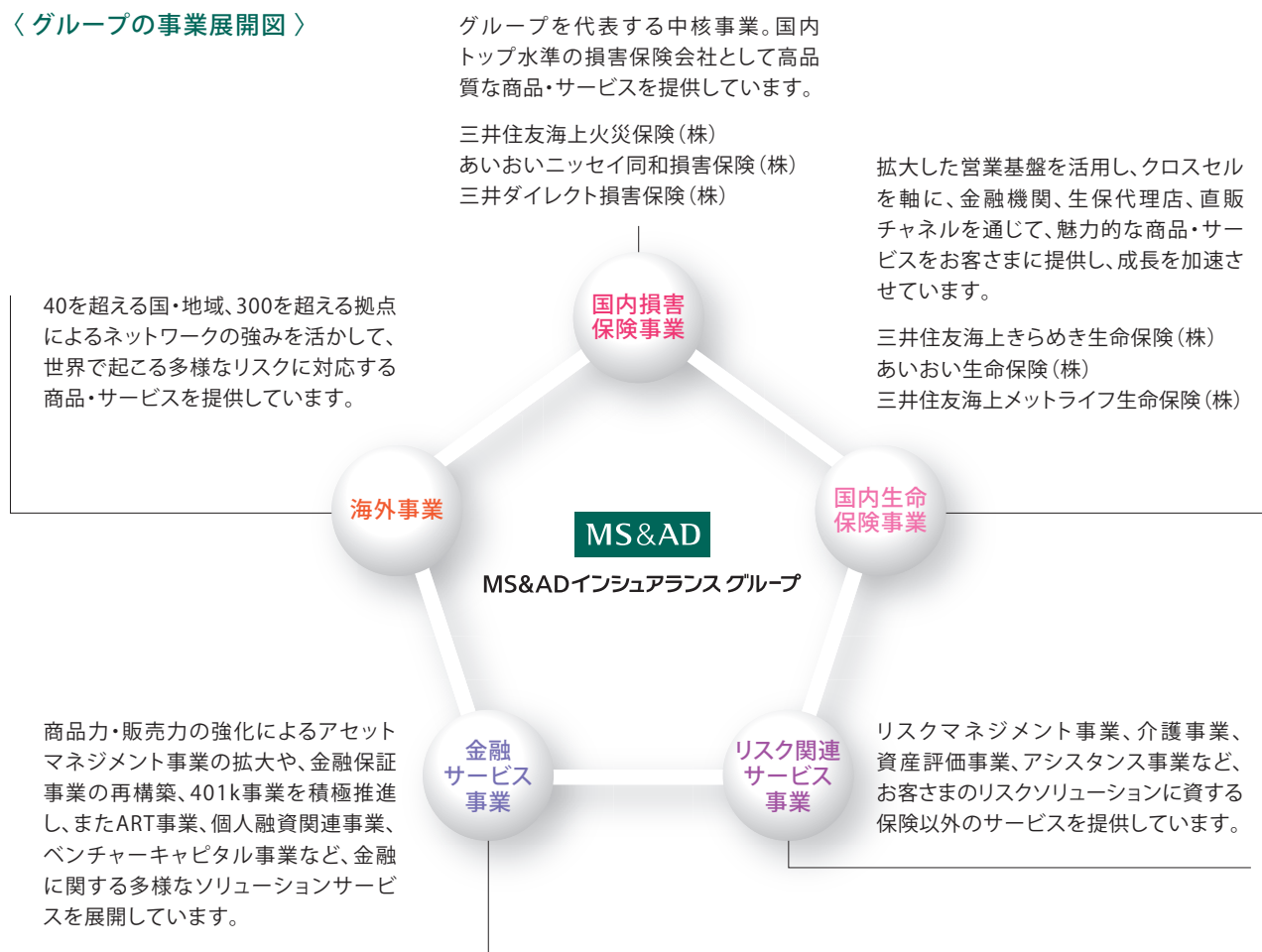
- 〈会社概要〉
- 商号 : MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
 - 設立年月日 : 2008年4月1日（2010年4月1日に社名変更）
 - 本社所在地 : 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル
 - 代表者 : 代表取締役社長 江頭 敏明（えがしら としあき）
 - 資本金 : 1,000億円
 - 従業員数 : 87名（2010年4月1日現在）



▶ MS&ADインシュアランス グループの事業展開

MS&ADインシュアランス グループは、グループの総合力を結集してグループシナジーを追求し、お客さま一人ひとりに応じた高品質な商品・サービスを提供します。

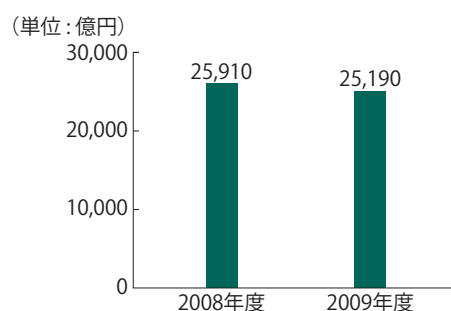
〈グループの事業展開図〉



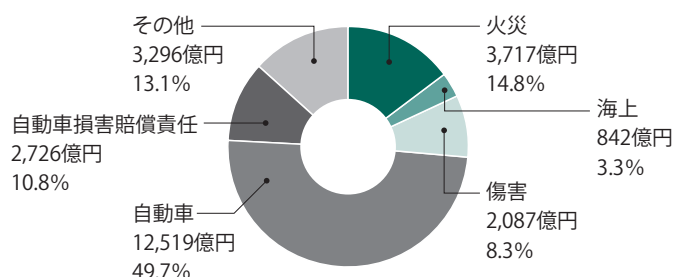
▶ 決算データハイライト

MS&ADインシュアランス グループの主要業績（3社グループ単純合算（連結））は次のとおりです。

〈正味収入保険料〉



〈種目別構成（2009年度）〉



※1) MS&ADインシュアランス グループは2010年4月1日発足のため、三井住友海上グループホールディングス（連結）、あいおい損害保険（連結）、ニッセイ同和損害保険（単体）の単純合算値を記載しています。

※2) 三井住友海上火災保険の独自商品である自動車保険「もどリッチ（満期精算型払戻金特約付契約）」の払戻充当保険料を控除したベースで記載しております。

▶ MS&ADインシュアランス グループの目指す姿 (経営理念(ミッション)、経営ビジョン、行動指針(バリュー))

スピード感を持って飛躍的に事業基盤および経営資源の質・量の強化・拡大を図ることにより、グローバルに事業展開する世界トップ水準の保険・金融グループを創造して、持続的な成長と企業価値向上を実現します。

MS&ADインシュアランス グループの目指す企業グループ像を明確にするため、次のとおり経営理念、経営ビジョン、行動指針を定めました。

MS&ADインシュアランス グループの目指す姿	
経営理念(ミッション) 「MS&ADインシュアランス グループの存在意義」	グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます
経営ビジョン 「MS&ADインシュアランス グループが中期的に目指す姿」	持続的成長と企業価値向上を追い続ける世界トップ水準の保険・金融グループを創造します
行動指針(バリュー) 「経営理念(ミッション)を実現するために、MS&ADインシュアランス グループの全社員が行動する際に大事にすること」	【お客さま第一】 CUSTOMER FOCUSED (カスタマー・フォーカス) わたしたちは、常にお客さまの安心と満足のために、行動します
	【誠実】 INTEGRITY (インテグリティ) わたしたちは、あらゆる場面で、あらゆる人に、誠実、親切、公平・公正に接します
	【チームワーク】 TEAMWORK (チームワーク) わたしたちは、お互いの個性と意見を尊重し、知識とアイデアを共有して、ともに成長します
	【革新】 INNOVATION (イノベーション) わたしたちは、ステークホルダーの声に耳を傾け、絶えず自分の仕事を見直します
	【プロフェッショナリズム】 PROFESSIONALISM (プロフェッショナリズム) わたしたちは、自らを磨き続け、常に高い品質のサービスを提供します

▶ MS&ADインシュアランス グループのCSR経営

MS&ADインシュアランス グループは、グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えることを、グループの経営理念(ミッション)としています。

そして、「すべての事業活動は、私たちのミッション・ビジョンを実現するためのものである」との基本的な考え方にもとづき、すべての事業活動を通して社会的責任を果たしていきます。MS&ADインシュアランス グループでは、これをCSR経営と位置付けています。

取組みの柱

CSR経営を進めていくため、MS&ADインシュアランス グループは、「本業を通じた持続可能な社会づくり」と「ミッション・ビジョン・バリューの共有」の2つを柱に取り組みます。

取組みの柱Ⅰ 本業を通じた持続可能な社会づくり

グローバルな事業展開を行うMS&ADインシュアランス グループには、持続可能な社会づくりに向けた取組みが求められています。地域社会・国際社会からの期待・要請に応え、MS&ADインシュアランス グループの本業を通じて持続可能な社会づくりに取り組むとともに、取組み状況をよりわかりやすく示すために、できる限り客観的な指標で発信していきます。

取組みの柱Ⅱ ミッション・ビジョン・バリューの共有

取組みの柱Ⅰを実現するため、グループ全社員で経営理念（ミッション）・経営ビジョン・行動指針（バリュー）を共有します。

目に見えない保険・金融サービスにおいては、お客さまに接する社員や代理店の仕事の商品そのものです。本業を通じた持続可能な社会づくりを実現するため、社員一人ひとりが自身の仕事と社会のつながりを絶えず考え、MS&ADインシュアランス グループの経営理念（ミッション）に照らして仕事をしていくことが、CSR経営の基本であると考えています。

CSR経営を推進するためのKPIの策定

MS&ADインシュアランス グループは、CSR経営をさらに推進させるための“KPI（主要業績評価指標）”を検討しています。

KPI策定の目的

CSR経営をさらに推進するためのKPIを導入することにより、事業活動そのものに「社会の持続可能性の観点」を組み込み、その進捗状況を数値化し、PDCAサイクルに沿って取り組んでいきます。

また、KPI導入により社員自身が“自分の仕事を通じて持続可能な社会づくりに貢献している”ということを知ることができると考えています。

国連グローバル・コンパクトへの参加

MS&ADインシュアランス グループは、2004年6月に金融機関としてはじめて国連グローバル・コンパクトへの参加を表明しました。

国連グローバル・コンパクトとは、1999年にアナン前国連事務総長が提唱したイニシアティブであり、グローバル企業に対し、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10原則を遵守し、実践するように求めています。

MS&ADインシュアランス グループは、国連グローバル・コンパクトが掲げる10原則を支持し、今後も、積極的な取組みを継続して進めていきます。



▶ コーポレート・ガバナンス

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングスは、長期的な安定と発展を実現するため、透明性と牽制機能を備えた経営体制を構築し、企業価値の向上に努めています。

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングスは、監査役会設置会社として、取締役（会）および監査役（会）双方の機能の強化、積極的な情報開示等を通じ、ガバナンスの向上に取り組んでいます。

執行役員制度を導入し、経営意思決定および監督を担う「取締役（会）」と業務執行を担う「執行役員」の役割を明確化してグループ経営管理の強化を図っています。また経営から独立した社外人材の視点を取り入れて監視・監督機能を強化し、透明性の高い経営を行うため、取締役13名のうち4名、監査役5名のうち3名を社外から選任しています。また、取締役会の内部委員会として、「人事委員会」「報酬委員会」を設置し、委員の過半数および委員長を社外取締役としています。

▶ コンプライアンス

MS&ADインシュアランス グループは、「MS&ADインシュアランス グループ コンプライアンス基本方針」を定め、コンプライアンス意識の徹底に取り組んでいます。グループ国内保険会社はこれを踏まえた各社ごとのコンプライアンスに関する方針を策定するなどして、役員・社員一人ひとりが、法令や社内ルールなどを遵守し、高い倫理観に基づいた事業活動を行っていくことの重要性を認識して、お客さまを

はじめとするすべてのステークホルダーの信頼に応える業務運営に努めることにより、保険事業者としての社会的責任を果たしていきます。

▶ リスク管理

MS&ADインシュアランス グループでは、「MS&ADインシュアランス グループ リスク管理基本方針」を制定し、グループ内で共有された基本的な考え方のもとでリスク管理を実行しています。この基本方針では、リスク管理の基本プロセスと体制、保険グループとして認識すべきリスクの定義や管理の考え方等について定めています。

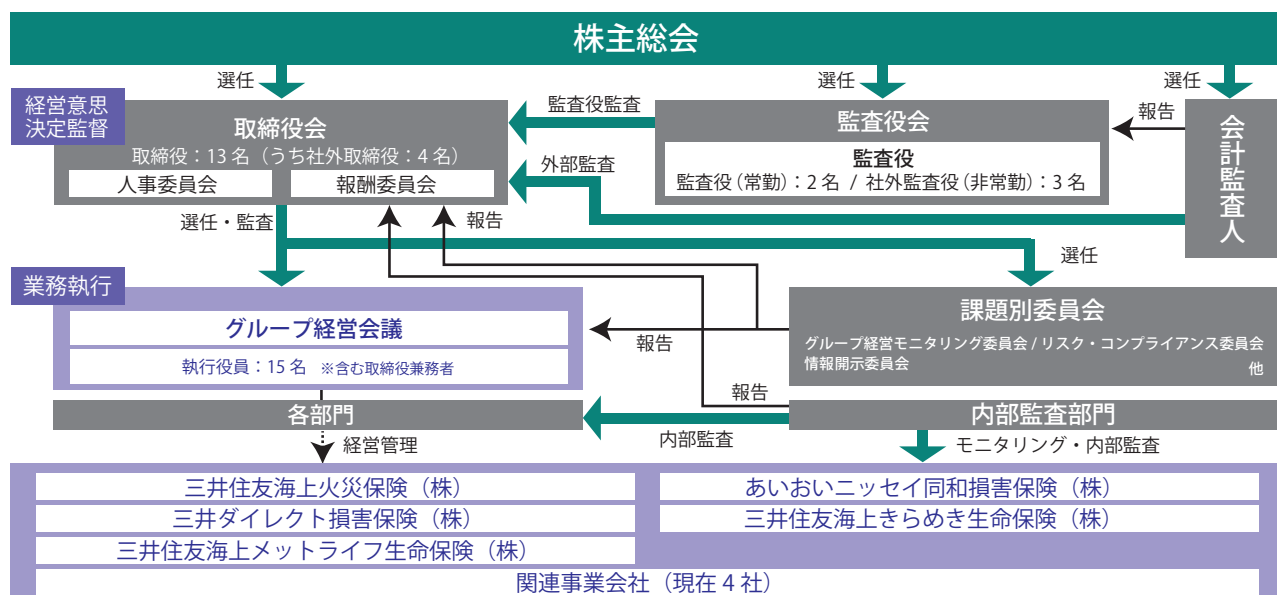
グループ国内保険会社では、この基本方針に沿って各社の実態に合わせた「リスク管理方針」を制定し、主体的にリスク管理を行っています。

▶ 情報管理

MS&ADインシュアランス グループは、個人情報保護の重要性に鑑み、また、法令等を遵守してお客さまの情報を適切に取扱うため、「MS&ADインシュアランス グループ お客さま情報管理基本方針」および「MS&ADインシュアランス グループ お客さま情報の共同利用に関する基本方針」を定めています。

グループ国内保険会社は、この基本方針に基づき、情報管理に関する社内規定の策定、セキュリティ対策の導入、社員・代理店教育の企画・運営、点検・モニタリングなどを行っています。

＜ガバナンス体制図＞



商品・サービスの品質向上

▶ ステークホルダーの声を活かした品質向上

MS&ADインシュアランス グループでは、お客さま、社外の専門家、代理店、社員の声を聞くさまざまな仕組みをつくり、商品やサービスの改善に活かしています。

社会から必要とされる企業グループであり続けるためには、ステークホルダーから何を期待され、何を求められているかを知り、商品・サービスの品質向上に活かしていくことが重要と考えています。ステークホルダーの声を、あらゆる業務のプロセスだけではなく、経営レベルの論議にも反映させています。今後も、ステークホルダーの声を大切にし、日々の業務改善に活かしていく取組を継続していきます。

社外の専門家の声を業務改善に活かす

お客さまの声を社内に確実にフィードバックし、お客さまにご満足いただける商品やサービスの提供につなげるため、三井住友社では、「お客さま基点推進諮問会議」において、社外の専門家と経営陣が意見交換を行い、改善が必要な事項は取締役会に提言しています。

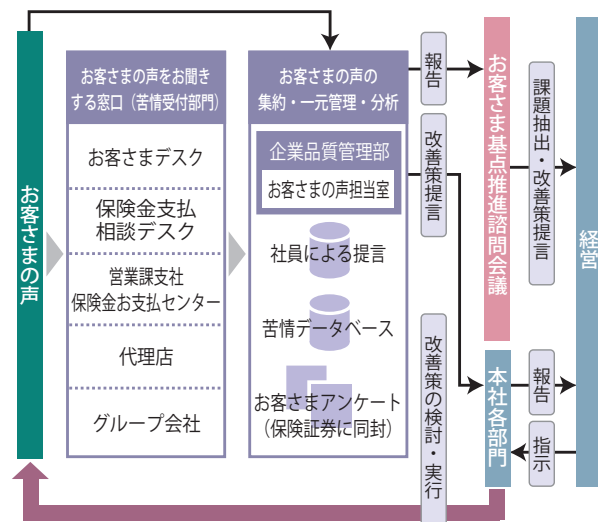
社外メンバー

大学教授、消費者団体代表者、SRI 調査会社関係者

社内メンバー

苦情対応管理担当役員、経営企画部担当役員、販売担当役員

〈お客さま基点推進諮問会議〉



▶ 業務の品質向上

MS&ADインシュアランス グループは、品質向上を通じてお客さまの信頼を獲得し、成長を実現することを基本戦略としています。お客さま第一を実践し、あらゆるお客さまに高品質で魅力的な商品・サービスを提供できるよう商品開発に取り組んでいます。

わかりやすい商品を開発する取組み

グループ国内保険会社では、お客さまからいただいた「商品が複雑でわかりにくい」「事故が発生したときにどのような保険金が受け取れるのかよくわからない」「事故時にきちんと対応してほしい」などのご意見にしっかりとお応えできるよう、お客さまの視点でわかりやすい商品づくりに取り組んでいます。

お客さまから選ばれる損害サービス

MS&ADインシュアランス グループでは、「正確、迅速、誠実な対応で、お客さまに感動を与える損害サービスを提供することで、皆さまから継続的に高く評価・信頼される態勢を構築すること」を目指して、各種取組を進めています。

日ごろの仕事を通じて、お客さまの信頼を獲得するために心がけていること

常に自分自身が「損害保険のプロ」としてお客さまから見られていること、意見を求められていることを忘れずに、事故対応を行っています。

不運な事故に遭われたお客さまに対して、お客さまの立場に立った親身な対応を行うとともに、事故解決までの流れや疑問に感じられるであろう点をお客さまのお気持ちに沿うようにご説明していくことで、お客さまの信頼を獲得できるよう日々努力しています。



三井住友社
東北損害サポート部
仙台火災新種保険金
お支払センター
徳田 菜保子

代理店とともに成長

▶ 基本的な考え方と方針

お客さまとの接点である代理店における品質向上について、これまでもグループ国内保険会社で取組みを進めてきました。三井住友社、あいおいニッセイ同和社では、あらゆるお客さまに高品質の商品・サービスをお届けするために、代理店の基本活動における品質の考え方を2社共通で作成し、その考え方に基づいて、品質向上に取り組んでいます。

▶ 代理店業務の品質向上

代理店業務の品質向上支援

すべてのお客さまに対して、確実に均質なサービスを提供できる体制を整えるため、三井住友社では、「代理店品質認定制度(Qマーク制度)」を設けています。お客さまのニーズに沿って保険の提案を的確に行えることなど、「保険の基本サイクル」を確実に実行しているかどうかを認定基準としています。

また、あいおいニッセイ同和社では、2010年度より「適切な募集サイクル」によるお客さま対応を中心とした「新お客さまいちばん!品質基準」を作成しました。

取組み課題については定期的に検証し、品質向上に向けたサポートを行っています。

代理店業務のスキル向上支援

保険販売に必要なコンプライアンス、商品、事務・システムなどの知識を代理店が学べるよう、三井住友社では、「代理店キャリアアッププログラム」を構築し、eラーニングなどのメニューを揃え、募集人^{※1}の習熟度に合わせて学習できるようにしています。2009年度には約2万5千店の代理店がeラーニングを活用しました。

また、あいおいニッセイ同和社が展開している代理店、扱者^{※2}のためのインターネット学習システム「ADWeb講座(旧IOI保険講座)」では、2008年11月以降、4万人を超える募集人の方が修了しました。

MSIメット社では、代理店がお客さまとの良好なコミュニケーションを築くためのセールスコミュニケーション研修を独自に開発しているほか、刊行誌「INFOBOX」を発刊し、コンプライアンス等をテーマとした教育ツールを提供しています。

※1) 募集人：保険販売の資格を持ち、金融庁に保険販売を行うことを届け出ている人

※2) 扱者：募集に従事する永年雇用型社員

株主構成と情報開示

▶ 基本的な考え方と方針

MS&ADインシュアランスグループは、株主・投資家の皆さまに信頼され企業価値を正に評価していただけるよう、IRポリシーに基づきIR活動を展開しています。

また、法令や証券取引所の規則などにより開示が求められる会社情報に加え、当社グループ経営の基本方針・経営計画や事業戦略など投資判断に資する各種情報についても積極的に公表し、開示情報の充実に努めています。今後も、迅速かつ公平で、わかりやすい情報発信をしていきます。

▶ 株主・投資家とのコミュニケーション

インターネットホームページや各種説明会を通じて広く社外へ情報発信を行うとともに、株主・投資家、アナリストの皆さまからのお問い合わせに誠実に対応

しています。2010年度は、統合後新たにMS&ADインシュアランスグループホールディングスの株主となった皆さまへ、「MS&ADレポート」を通じて2009年度の三井住友社、あいおい社、およびニッセイ同和社の決算概要と2010年度の通期見込などについてお知らせしています。

冊子、サイトによる情報発信

広くMS&ADインシュアランスグループを知っていただくため、「ディスクロージャー誌」(日本語)と「アニュアルレポート」(英文)を発行しています。また、株主・投資家の皆さまが会社情報や決算関連の開示情報をタイムリーにご覧いただけるよう、IRサイトの充実に努めています。なお、当社のIRサイトは、大和IR「インターネットIR・ベスト企業賞」を4年連続で受賞しています。

▶ 基本的な考え方と方針

MS&ADインシュアランス グループは、社員の多様な価値観を受け入れながら、チャレンジを支援する研修や施策を充実させ、社員が誇りと働きがいを持って、プロフェッショナルとして働くための育成・支援を行っています。

▶ 雇用の状況

MS&ADインシュアランス グループは、透明かつ公正な人物本位の採用を行っています。

単位:人

MS & ADグループの採用者数および従業員数				
	採用者数(新卒)			従業員数
	2008年 4月	2009年 4月	2010年 4月	2010年 3月31日
三井住友社	672	720	488	15,151
旧あいおい社	195	406	216	9,346
旧ニッセイ同和社	238	238	110	4,445
三井ダイレクト社	0	10	0	473
きらめき生命社	26	46	50	1,355
あいおい生命社	1	0	1	367
MSIメット社	0	0	0	474

▶ 人財育成

社員一人ひとりがプロフェッショナリズムを高め、現状に満足せずに革新を追求し、組織としての総合力を最大化できるよう人財育成に取り組んでいます。

▶ チャレンジを支援

社員自身が"目指す姿"を実現できるよう、さまざまな制度を揃え、社員のキャリア形成をバックアップしています。

三井住友社、あいおいニッセイ同和社では、希望するポストや特定の部署へ自由に応募し、チャレンジすることができる制度があります。

2009年度、三井住友社の「ポストチャレンジ制度」では、198名の応募があり、30名の異動が実現しました。

また、あいおいニッセイ同和社が実施している「チャレンジエントリー制度」では、2009年度、9名の登用(旧あいおい社)を行いました。

▶ 人権への取組み

人権を尊重する企業として人権啓発研修の実施などを通じて、基本的人権を尊重し良識ある人権感覚を持って行動する社員を育成しています。

三井住友社では、本社に人権啓発研修推進本部(事務局:人事部内)、各部支店に人権啓発推進委員会(推進委員長:部支店長)を設置し、継続的かつ組織的に取り組んでいます。

あいおいニッセイ同和社では、本社に「ヒューマンライツ推進会議」を設置し、各本部との連携体制のもとで、新入社員の入社時の導入研修、全社員を対象とした啓発活動を実践しています。

▶ 働きやすい職場をつくる

MS&ADインシュアランス グループは多様な社員の価値観を受け入れ、仕事と生活を調和させるための制度を用意し、意欲のあるすべての社員が仕事において成長し、能力を発揮できる機会を提供しています。

企業内保育園開園

あいおいニッセイ同和社は、2008年3月、東京都練馬区光が丘(コンタクトセンター事業部入居ビル内)に企業内保育園「キッズくらぶ(旧あいおいキッズくらぶ)」を開園しました。この企業内保育園開設は、仕事と子育てを両立させ、いきいきと働く社員を支援することを目的とし、社員のより一層の活躍を支援する取組みの一つとして位置づけています。



あいおいニッセイ同和社 企業内保育園

障がい者の職場定着

三井住友社では、「チームWITH」と名づけた組織を設置し、職場の受入れ体制づくりと、障がいがある社員の定着に取り組んでいます。

「チームWITH」のメンバーは、職場の上司や障がいがある社員本人に面談を行うほか、職場定着マニュアルを作成するなどの取組みを行っています。

また、毎年1回、聴覚に障がいがある社員を対象に専門知識などの習得のための研修を行っています。

▶ 基本的な考え方と方針

地域社会・国際社会の一員として、会社主体の社会貢献活動を通じてその持続的発展に寄与するとともに、さまざまな制度により社員の社会貢献活動を支援しています。

▶ 本業を通じた社会貢献

MS&ADインシュアランス グループは、グループ各社の技術やノウハウを活かして、お客さま、地域社会に貢献できるよう、さまざまな取組みを行っています。自動車保険を取扱う損害保険事業者として、防げる事故を防ぐこと、「いのち」「医療」に関わる生命保険事業者として、医療について正しく知ること、備えることのお手伝いをすることも大切な社会的使命の一つだと考えています。

交通安全にかかわる取組み

三井住友社、あいおいニッセイ同和社では、グループ会社のインターリスク総研と連携し、交通事故の防止・削減に向けたコンサルティングをはじめ、法人のお客さまが主催する事故防止セミナーへの講師派遣や運転適性診断など、各種の自動車リスクマネジメントサービスを法人のお客さまに提供しています。

三井住友社では、2010年度から、簡易型ドライブレコーダーを活用した、代理店による個人のお客さま向け運転診断サービスを開始しました。



個人のお客さま向け運転診断サービス（イメージ図）

「いのち」「医療」にかかわる取組み

あいおい生命社では、2008年7月から「ハートLIFEプロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、「プレミアムW^{※1}」「ジャストワンW^{※2}」の新規契約件数に応じた金額をワクチン等の購入費用として寄付する運動を開始し、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」に対し、今までにワクチン21万2千人相当分を寄付しました。

また、2009年度は新たに女性向け商品「ルナメディカル」の発売に合わせ、その新規契約件数に応じた金額をNPO法人「キャンサーリボンス」のがん治療中の女性をサポートする活動へ寄付しました。

※1)「プレミアムW」：低解約返戻金特則付積立利率変動型終身保険（無配当）
 ※2)「ジャストワンW」：新収入保障保険（無配当）

▶ 社員の社会貢献活動を支援する

MS&ADインシュアランス グループでは、社員一人ひとりが地域社会で一市民として行動することは、社員の成長につながるだけでなく、私たちの事業活動によって立つ社会がどのような課題を抱えているのか、何が私たちに期待されているのかを知る上で大切なことと考えています。

▶ 文化・福祉における社会貢献活動

三井住友海上福祉財団

三井住友海上福祉財団[※]では、交通安全と高齢者福祉の両分野において、研究助成をはじめとした助成活動を公募により行っています。また、優れた著作と論文に「三井住友海上福祉財団賞」を授与しています。2007年度に東南アジアを対象地域として海外研究助成を開始しました。設立以来の累計助成実績は、2009年度末で1,637件、20億1,390万円になります。

※) 1975年設立。2009年12月公益財団法人に移行

自動車保険にベルマークを付帯 子どもの笑顔が増えますように

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という趣旨に賛同し、あいおいニッセイ同和社は金融業界初の協賛会社として、2000年よりベルマーク運動に参加しています。自動車保険をはじめ、一般家庭を対象とする各種目の保険商品にベルマークを付帯しています。また、当社ベルマークの収集率は年々増加しており、子どもたちの笑顔が増えるようお手伝いができることをうれしく思いながら業務を行っています。



あいおいニッセイ同和社
営業企画部
企画推進グループ
山崎絵美子

地球環境への取組み

▶ 環境方針

MS&ADインシュアランス グループでは、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という経営理念に基づき、地球環境問題に関する「MS&ADインシュアランス グループ環境基本方針」を2010年4月1日に制定しました。

あらゆる環境問題への取組みを社会的使命として考え、全役職員が一丸となって推進していきます。

MS&ADインシュアランス グループ環境基本方針

2010年4月1日

基本理念

MS&ADインシュアランス グループは「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」という経営理念に基づき、企業活動を通じて地球環境の保全と改善に努力し、下記の行動指針に沿って着実かつ持続可能な取組みを推進していきます。

行動指針

- ① 保険・金融サービス事業を通じた地球環境保護
- ② 事業活動における環境負荷の軽減と生物多様性の保全
- ③ 環境マネジメントシステムの推進
- ④ 環境啓発活動を通じた社会との共生

▶ 保険金融商品・サービスを通じて地球環境保護に貢献する

MS&ADインシュアランス グループでは、本業を通じて地球温暖化を食い止める取組みを進めるため、これまでの枠組みにとらわれない新たな商品・サービスのあり方を考え、開発に取り組んでいます。

環境にやさしい保険商品・サービス

三井住友社では、「Web約款」や「電子契約手続」など環境に配慮した本業での取組み件数に応じて、再生可能エネルギーの普及を推進・支援する環境保護への取組みに寄付を行う「Green Power サポーター」を行っています。

取組みの1つである「Web約款」は、冊子の約款に代えて、ホームページからごらんいただける約款です。約款で使用する紙の消費量は大変多く、Web約款のご利用が広まれば、大きな環境貢献が期待できます。

2009年度には、440万円の寄付を行いました。

▶ 事業活動による環境負荷を減らす

MS&ADインシュアランス グループのエネルギー使用状況

MS&ADインシュアランス グループでは、全社員が省エネ・省資源活動、リサイクルに取り組んでいます。最も多くエネルギーを使用し廃棄物を排出する各事業会社の本社ビルやシステムセンタービルにおいても、削減の取組みを着実に進めています。

各事業会社の本社ビルおよびシステムセンタービルにおける省エネ取り組み結果			
	電気使用量 (単位=千kWh)	ガス使用量 (単位=千m ³)	熱供給使用量 (単位=GJ)
	上段：2009年度使用量 下段：対前年度比削減率		
三井住友社	31,031 ▲3%	508 +5%	26,953 ▲24%
旧あいおい社 (恵比寿本社のみ)	5,501 +0.2%	129 ▲9.9%	— —
旧ニッセイ同和社	5,893 ▲6%	201 ▲4%	— —

▶ 生物多様性保全への取組み

生物多様性に関するリスクは、将来的にお客さまのリスクになりうる可能性があるという考えから、より一層の取組みを強化することが必要と考え、2010年4月1日に制定した「MS&AD環境基本方針」の行動指針に、「生物多様性の保全」の取組みを明記しました。

企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)の取組み

三井住友社では、生物多様性の保全と生物資源の持続的な利用について、企業が集まり共同研究する「企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)」の設立(2008年4月)以来、会長会社としてサポートしています。研究の成果をもとに他の企業やステークホルダーとの対話を図り、生物多様性の保全に貢献する取組みを進めています。

企業が語るいきものがたりPart3

三井住友社では、2009年11月に、企業が生物多様性の取組みを行うための啓発活動として、生物多様性シンポジウム「企業が語るいきものがたりPart3」を環境省の後援およびJBIBの特別協力を受け、開催しました。2010年10月に名古屋で開催されるCOP10で議論される予定の内容や企業のとるべき行動などについて、基調講演などを実施しました。

MS&ADインシュアランス グループ CSR Report 2010詳細版 〈 Webサイトのご案内 〉

<http://www.ms-ad-hd.com/csr/index.html>

「MS&ADインシュアランス グループ CSR Report 2010」の
詳細版をwebで紹介しています。



CONTENTS

■ トップメッセージ

■ 編集方針

■ MS&ADインシュアランス グループの紹介

- 概要 ○ 決算データハイライト
- 持株会社の体制 ○ グループの事業展開

■ MS&ADインシュアランス グループのCSR

- MS&ADインシュアランス グループの目指す姿
(経営理念(ミッション)、経営ビジョン、行動指針(バリュー))
- MS&ADインシュアランス グループのCSR経営

■ マネジメント

- コーポレート・ガバナンス ○ コンプライアンス
- リスク管理 ○ 情報管理

■ 商品・サービスの品質向上

- ステークホルダーの声を活かした品質向上
- 業務の品質向上

■ 代理店とともに成長

- 基本的な考え方と方針 ○ 代理店業務の品質向上

■ 株主構成と情報開示

■ 社員とともに成長

- 基本的な考え方と方針 ○ 雇用の状況 ○ 人材育成
- チャレンジを支援 ○ 人権への取り組み
- 働きやすい職場をつくる

■ 地域社会・国際社会に貢献

- 基本的な考え方と方針 ○ 本業を通じた社会貢献
- 社員の社会貢献活動を支援する
- 文化・福祉における社会貢献活動 ○ 取引における責任

■ 地球環境への取り組み

- 環境方針
- 保険金融商品・サービスを通じて地球環境保護に貢献する
- 事業活動による環境負荷を減らす
- 啓発活動を通じて社会と共生する
- 生物多様性保全への取り組み

■ CSRレポート2010 実績と今後の課題

■ 第三者意見

- 第三者意見 ○ 第三者意見を受けて

■ CSRレポート2010 ダイジェスト版